

Annual Report

2009~2010



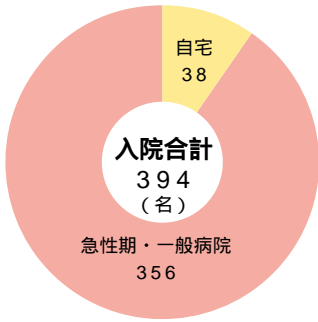
DATA FILE

CONTENTS

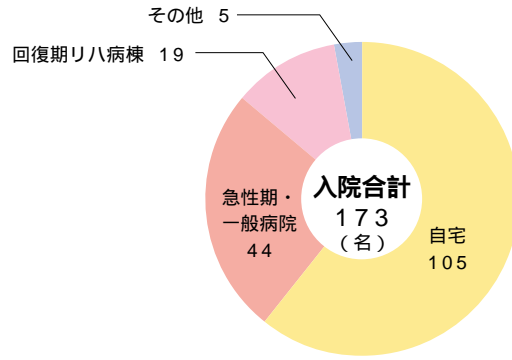
霞ヶ関南病院 入院状況／霞ヶ関南病院 入院相談状況	2
霞ヶ関南病院 退院状況／霞ヶ関南病院 入退院時のADL評価	3
退院時アンケート結果①	4
退院時アンケート結果②／事故届の内訳	5
外来受診状況／リハビリ（入院＋外来）の実施状況／マルチルームの利用状況	6
在宅サービスの拠点概要および利用状況／SKIPトレーニングセンター利用状況	7
在宅サービスほか各種保健事業の実施状況	8
医療法人 真正会 行事報告	9
Financial Summary	10
医療法人 真正会のあゆみ	11

●霞ヶ関南病院 入院状況 (2009年度)

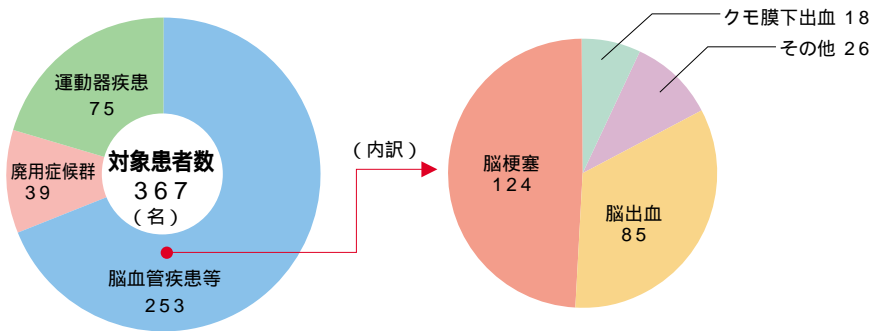
回復期リハ病棟(121床)



障害者(37床)・医療療養(41床)

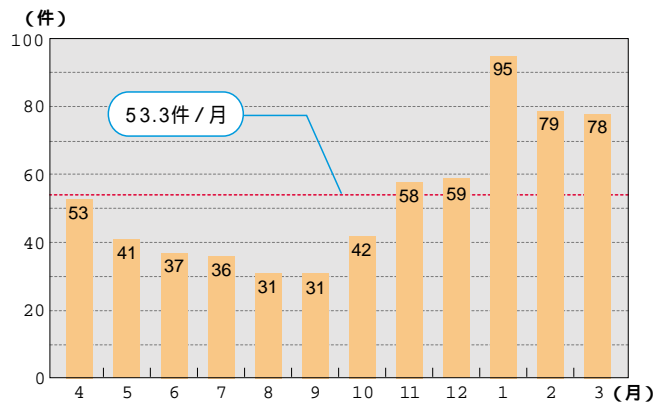


回復期リハ病棟特定入院料算定患者状況

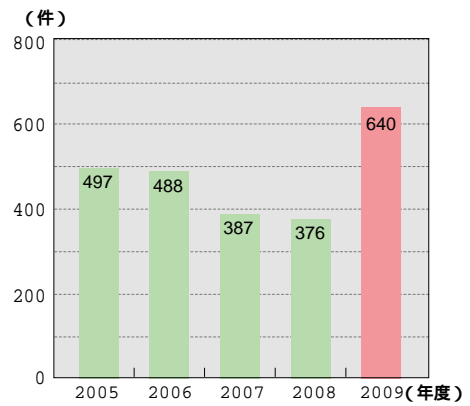


●霞ヶ関南病院 入院相談状況 (2009年度)

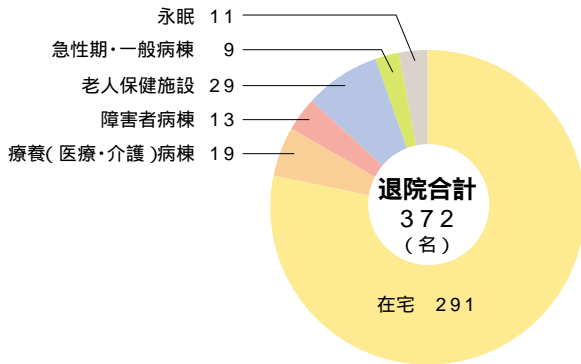
月別入院相談状況



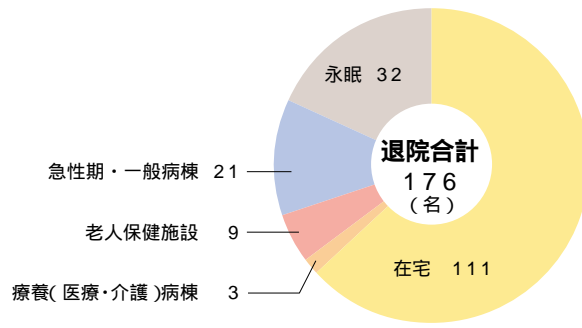
入院相談状況の推移



回復期リハ病棟(121床)



障害者(37床)・療養病棟(41床)



各病棟の平均在院日数等

●回復期病棟

平均在院日数	111.1日
平均入院日数	116.4日
自宅退院率(含施設)	80.0%

●障害者等一般病棟

平均在院日数	144.4日
平均入院日数	127.4日
自宅退院率(含施設)	64.0%

●療養病棟

平均在院日数	197.1日
平均入院日数	284.0日
自宅退院率(含施設)	59.0%

自宅退院患者の利用サービス状況

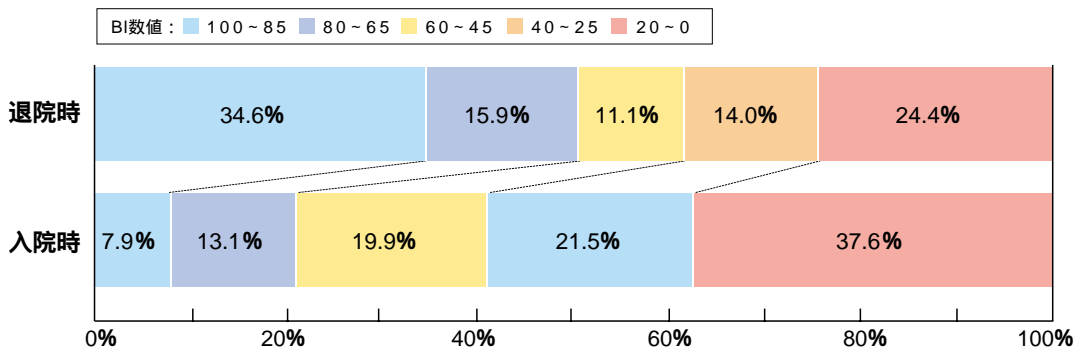
重複アリ、コミケア入院の再開も含む

	真正会外来	他院外来	訪問医療		訪問看護		訪問リハ		訪問介護		外来リハ		通所リハ		通所介護		ケアマネジャー			SKIP
			当法人	他院	当法人	法人外	当法人	法人外	当法人	法人外	当法人	法人外	当法人	法人外	当法人	法人外	当法人	法人外	なし	
累積	84	224	52	13	55	28	67	17	15	63	36	2	130	69	21	89	86	221	36	11
比率	21%	57%	13%	3%	14%	7%	17%	4%	4%	16%	9%	1%	33%	17%	5%	22%	22%	56%	9%	3%

法人関連サービス利用者	264名
上記以外	132名

ケアマネ・かかりつけ医を除く

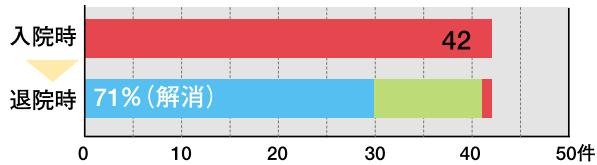
自宅退院した患者の66.7%が法人のサービスを利用(再開者も含む)
前年度より、6.2%の利用率アップ!



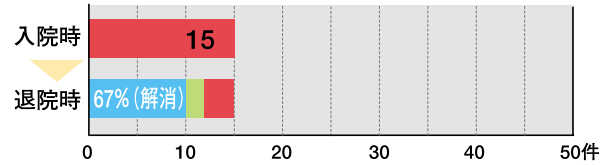
●入院にあたっての不安と退院時の解消度

不安(未解消) 一部解消 解消

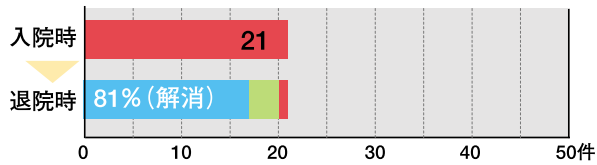
①病気が良くなるか



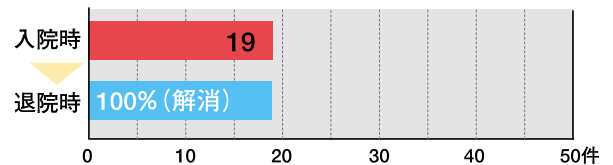
⑧病院までの交通の便



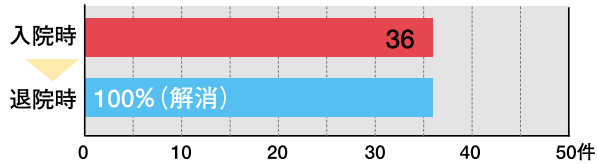
②病気についての説明



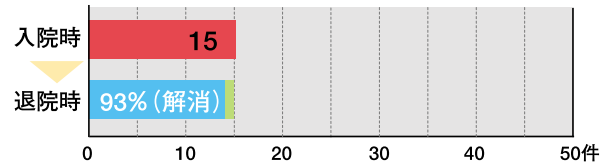
⑨食事は美味しいか



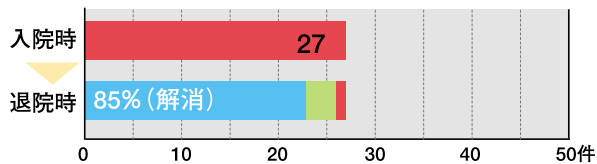
③医師・看護師等が親切か



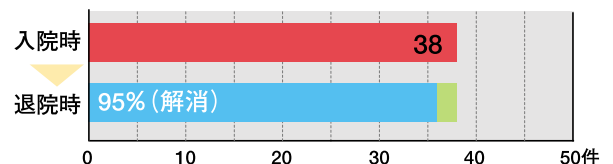
⑩いつ退院できるのか



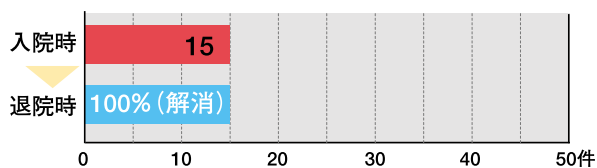
④リハビリが受けられるか



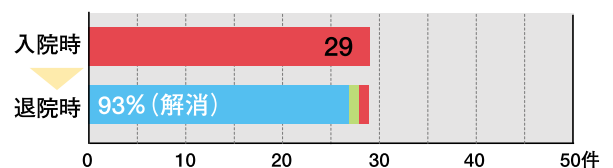
⑪入院生活や退院後の相談



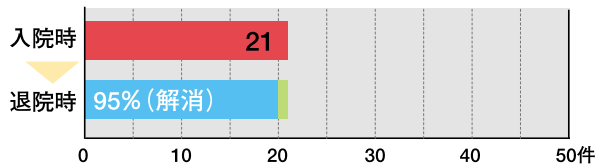
⑤医療施設は十分か



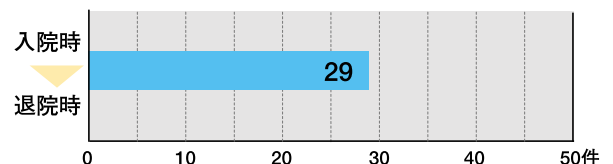
⑫入院費について



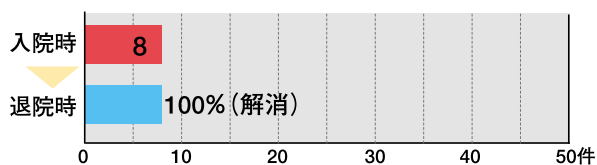
⑥病室・トイレが清潔か



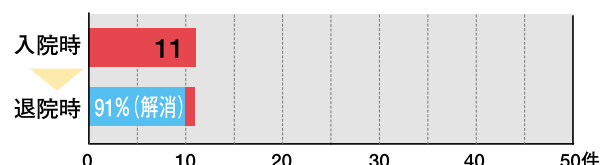
⑬特になし



⑦売店はあるか

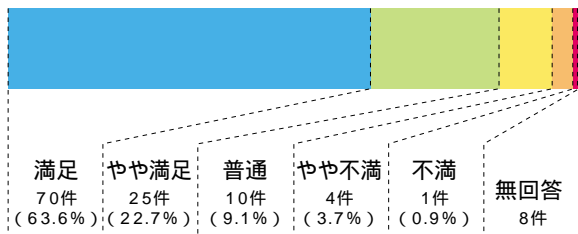


⑭その他

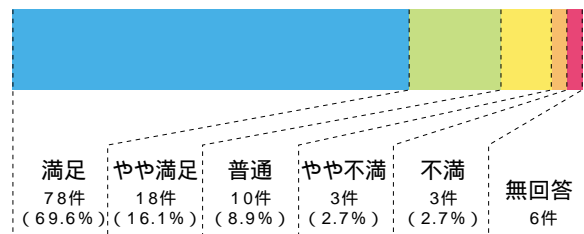


●退院時アンケート結果②（霞ヶ関南病院・回収118名）

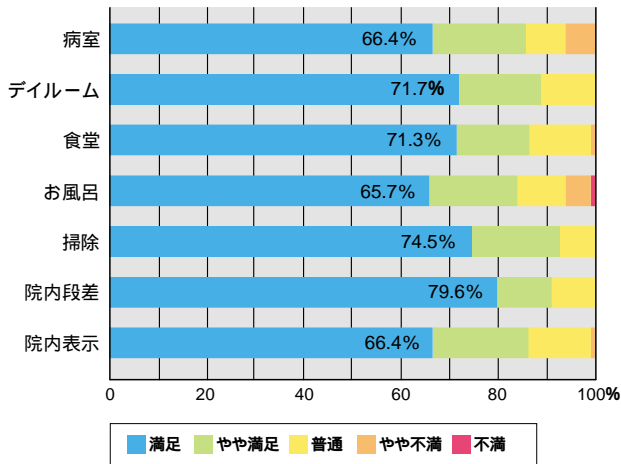
●食事に対する満足度



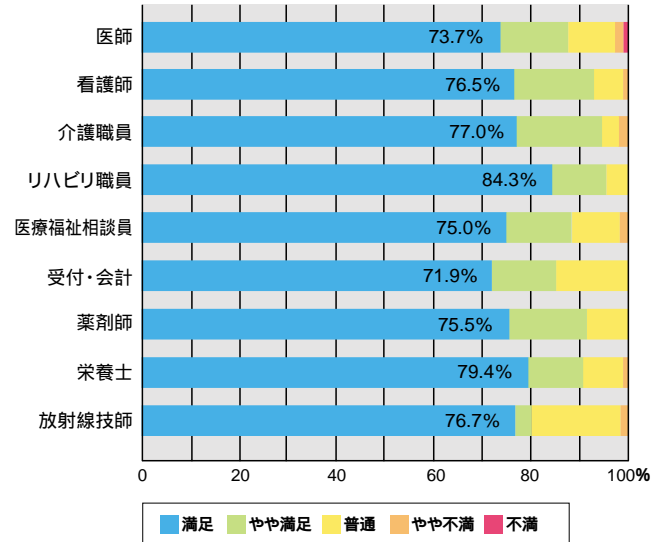
●病院や入退院の説明に対する満足度



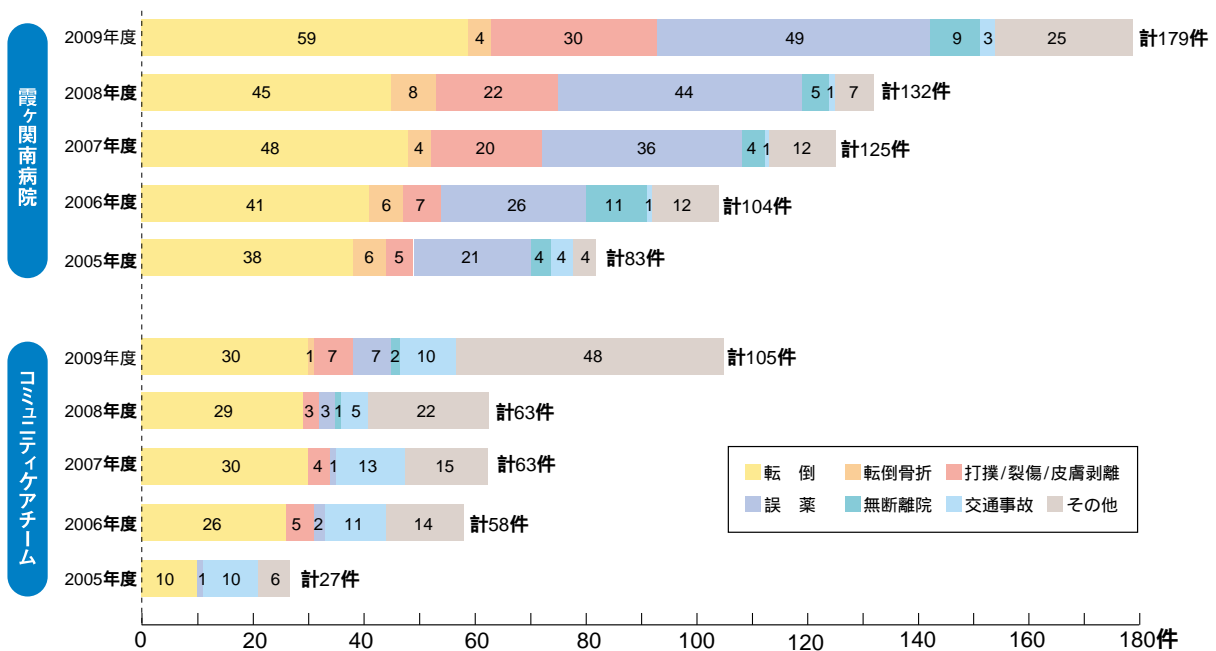
●院内環境について



●職員の対応について

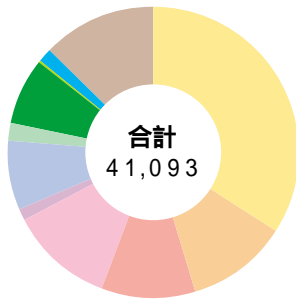


●事故届の内訳（過去5年間）



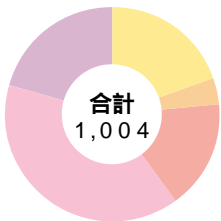
●霞ヶ関南病院 外来利用患者状況 (2009年度)

外来受診延べ患者数状況(名)



内科	14,000	泌尿器	808
リハビリ	4,628	眼科	3,032
リウマチ	4,282	整形外科	88
皮膚科	4,746	胃腸科	629
精神科	532	歯科	5,191
生活習慣	3,157		

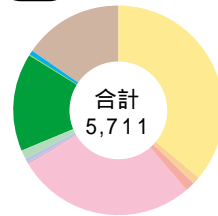
外来実施検査件数(名)



腹部エコー	196
心エコー	41
胃カメラ・ファイバー	165
CT	396
MRI	207

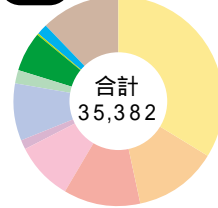
外来患者数内訳(名)

初診



内科	2,062	泌尿器	77
リハビリ	66	眼科	860
リウマチ	84	整形外科	7
皮膚科	1,580	胃腸科	41
精神科	21	歯科	878
生活習慣	35		

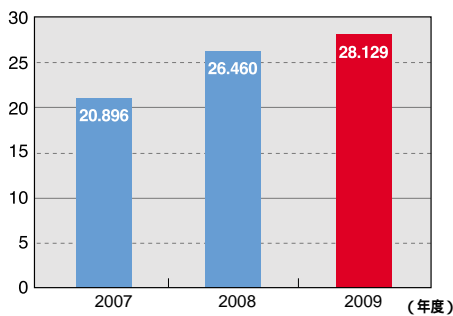
再診



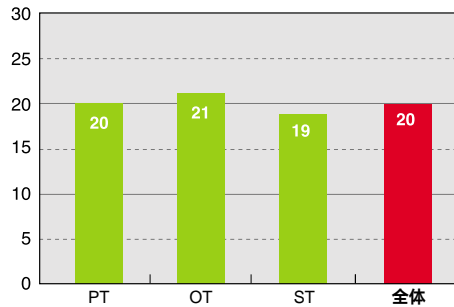
内科	11,938	泌尿器	731
リハビリ	4,562	眼科	2,172
リウマチ	4,198	整形外科	81
皮膚科	3,166	胃腸科	588
精神科	511	歯科	4,313
生活習慣	3,122		

●リハビリ (入院+外来) の実施状況 (2009年度)

●月平均実施単位数

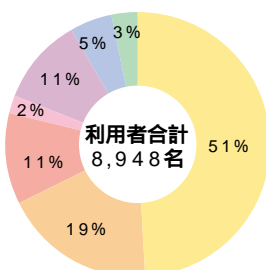


●スタッフ一人当たりの実施単位数



●マルチルームの利用状況 (2009年度)

●マルチルーム利用状況



入院	4,526名
デイホスピタル	1,713名
SKIP	1,025名
外来	202名
家族	981名
一般	476名
アダーズ	295名

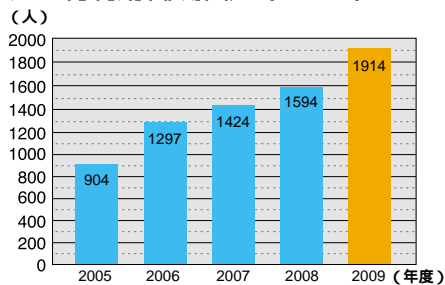
月平均利用者 746名

●在宅サービスの拠点概要および利用状況（2009年度）

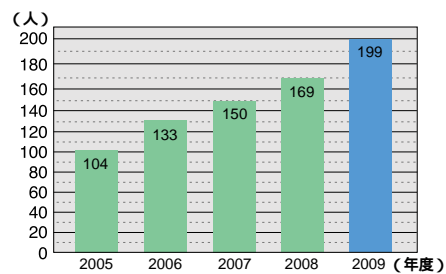
事業所(部署名)	サービス種別	月平均利用者数	平均介護度
霞ヶ関中央クリニック 訪問医療	訪問診療（医療保険・介護保険）	162名	3.1
居宅介護支援事業所 霞ヶ関南病院	居宅介護支援事業（介護保険）	283名	2.6
川越市地域包括支援センター かすみ	川越市委託事業（担当地区：大東、霞ヶ関）	119名	-
訪問看護ステーション スマイル（看護）	訪問看護（介護保険・医療保険）	159名	2.9
	訪問リハビリテーション	110名	
ホームヘルパーステーション コール	訪問介護	79名	2.3
デイホスピタル	通所リハビリテーション	59名	1.9
デイリハビリテーションセンター		107名	3.6
デイリビング	通所介護（介護保険）	191名	2.0
ケアラウンジ南大塚		98名	2.1
SKIPトレーニングセンター	トレーニングセンター	199名	-

●SKIPトレーニングセンター利用状況（2009年度）

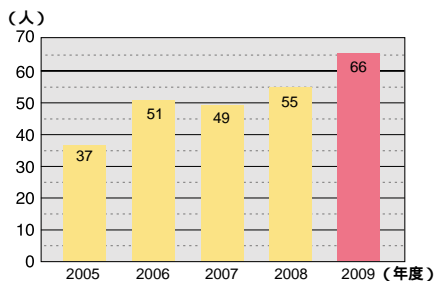
●延べ総利用者数推移（月平均）



●総利用者数推移（月平均）



●日割利用者数推移



●SKIP実施教室

教室名	延べ参加数
アロマストレッチ教室	90名
コンチネンス体操教室	26名
チューブ体操教室	67名
つぼ踏み体操教室	39名
ペットボトル体操教室	77名
らくらく椅子体操体操教室	87名
合計	386名

在宅サービスほか各種保健事業の実施状況（2009年度）

●まるごとネットの開催

実施日	内容・講師等	形式	開催場所	参加数
5月19日	『認知症のコミュニケーション』について学ぶ ～認知症の方との係り方を知ろう～ 日本看護協会認知症看護認定看護師 鈴木智子氏	講義	霞ヶ関南病院 アネックスB棟2階研修室	43名
7月17日	『地域を見守るネットワークについて2』 十文字学園女子大学 人間生活学部 准教授 佐藤陽氏	講義	霞ヶ関南病院 アネックスB棟2階研修室	37名
9月10日	『憩いの場づくり・地域の縁側づくり』について考えよう	グループワーク	霞ヶ関南病院 アネックスB棟2階研修室	43名
11月13日	『私達が地域の居場所を創ったわけ』について考えよう	シンポジウム	霞ヶ関南病院 アネックスB棟2階研修室	47名
1月28日	『住民のニーズを掘り起こし・結び付ける』～ボランティアアドバイザーのお仕事～ ボランティアアドバイザー 木村房枝氏 鈴木裕子氏	講義	霞ヶ関南病院 アネックスB棟3階研修室	43名
3月19日	『地域の特性をまとめて、課題を考えてみよう』～わたしたちの地域ってどんなところ？～	グループワーク	霞ヶ関南病院 アネックスB棟4階研修室	40名

●介護予防福祉啓発事業

実施日	内容・講師等	開催場所	参加数
9月30日	元気で支えたい養成講座 『介護予防とは？認知症ってどうしてなるの？』 日本看護協会認知症看護認定看護師 鈴木智子氏	大東公民館	16名
10月14日	元気で支えたい養成講座 『認知症の予防に運動は効果的?!』 霞ヶ関南病院 理学療法士 岡持利巨氏	大東公民館	20名
10月28日	元気で支えたい養成講座 『認知症の予防に効く食事?!』 霞ヶ関南病院 管理栄養士 渡部厚子氏	大東公民館	18名
11月11日	元気で支えたい養成講座 『楽しく認知症予防』 霞ヶ関南病院 福祉レクリエーションワーカー 石戸谷美幸氏 原田拓矢氏	大東公民館	15名
11月25日	元気で支えたい養成講座 『わたしもあなたも今日から元気で支え隊!』 日本看護協会認知症看護認定看護師 鈴木智子氏	大東公民館	17名
2月22日	元気で支えたい養成講座 フォローアップ研修	大東公民館	10名
10月21日	元気で支えたい養成講座 『介護予防とは？認知症ってどうしてなるの？』 日本看護協会認知症看護認定看護師 鈴木智子氏	霞ヶ関公民館	17名
11月4日	元気で支えたい養成講座 『認知症の予防に運動は効果的?!』 霞ヶ関南病院 理学療法士 岡持利巨氏	霞ヶ関公民館	19名
11月18日	元気で支えたい養成講座 『認知症の予防に効く食事?!』 霞ヶ関南病院 管理栄養士 渡部厚子氏	霞ヶ関公民館	17名
12月2日	元気で支えたい養成講座 『楽しく認知症予防』 霞ヶ関南病院 福祉レクリエーションワーカー 石戸谷美幸氏 原田拓矢氏	霞ヶ関公民館	18名
12月16日	元気で支えたい養成講座 『わたしもあなたも今日から元気で支え隊!』 日本看護協会認知症看護認定看護師 鈴木智子氏	霞ヶ関公民館	18名
2月26日	元気で支えたい養成講座 フォローアップ研修	霞ヶ関公民館	10名

●食の自立支援会議

実施日	内容(事例提出)	開催場所
6月9日	在宅介護支援センターエーデル・つばさ	霞ヶ関南病院・研修室
6月9日	在宅介護支援センター真寿園・つばさ	霞ヶ関南病院・研修室
10月13日	在宅介護支援センター真寿園・エーデル	霞ヶ関南病院・研修室

●出張講座・相談

実施日	内容	出張先
4月17日	介護予防について	山伝南自治会館
7月12日	介護予防について	日東町自治会館
10月9日	介護保険のサービスを利用するには	大東公民館
11月19日	新型インフルエンザの予防について	大東南公民館

●認知症サポーター養成講座

実施日	開催地域	参加数
5月18日	霞ヶ関(民生委員・児童委員)	45名
7月10日	大東(民生委員・児童委員)	48名
8月21日	霞ヶ関(山伝地区)	56名
10月9日	霞ヶ関(上野地区)	46名

●介護予防サポーター養成講座

実施日	内容	参加数
10月6日	事業説明/包括紹介/高齢期の心と体の変化/介護予防とは/介護予防各論(栄養)	17名
10月20日	介護予防各論(口腔)/各論(認知症と運動の関係)/転倒骨折予防の講義・体操	19名
11月10日	転倒骨折予防の講義・体操・実技発表	18名
11月24日	介護予防の地域の活動状況/転倒骨折予防の講義・体操・実技発表	18名
12月4日	介護予防教室の見学/教室での体操発表	17名
12月22日	ボランティアとは/転倒骨折予防の体操・復習、活動場所の紹介	17名

●ケアマネジャー情報交換会

実施月	内容	講師等	参加数
4月	新要介護認定調査レクチャー	川越市役所 介護保険課認定担当 小山氏・富岡氏	22名
5月	『介護報酬について』	川越市役所 介護保険課管理給付担当 新井氏・久津間氏	20名
6月	事例検討会 『食生活について』	川越市地域包括支援センター かすみ	13名
7月	事例検討会 『成年後見について(経理管理)』	居宅介護支援事業所 霞ヶ関南病院	20名
8月	事業説明	川越市障害者相談支援センター	15名
9月	事例検討会 『本人と家族の思いにズレがあるケース』	居宅支援事業所 あげ道	11名
10月	事例検討会 『2人暮らしで双方病を抱える在宅生活』	居宅介護支援事業所 真寿園	21名
11月	事例検討会 『日常生活の改善を検討する必要があるケース』	居宅介護支援事業所 八瀬の里	10名
12月	事例検討会 『若年性アルツハイマー』	笠幡介護サービス	13名
1月	事例検討会 『障害高齢者自立度と認知症高齢者自立度』	ケアセンターさくら草	17名
2月	介護給付適正化事業について説明	川越市役所 介護保険課	20名
3月	アセスメントシート検討会	川越市地域包括支援センター かすみ	12名

4月	1・2日	新人研修
5月	24日～6月3日	ヨーロッパ研修
6月	10日 25日	バイキング (南病院) 職員レクリエーション・バレーボール大会
7月	5日 17・18日	介護者交流会 第20回全国老人デイ・ケア研究大会2009宮崎
8月	5日	夕涼み花火大会 (南病院)
9月	16日 27日～10月6日	敬老を共に祝う会 (南病院) オーストラリア研修
10月	14日 23・24日	新人研修 リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2009
11月	7日	地域感謝祭 ふれあい広場
12月	29日	真正会忘年会
1月	1日	新年 お屠蘇
2月	5・6日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第15回全国研究大会



ヨーロッパ研修



バレーボール大会



オーストラリア研修

各研究大会等における発表演題および演者
第20回 全国老人デイ・ケア研究大会 2009宮崎

演 題	演 者
通所リハビリにおける重介護者の嚆下障害に対する取り組み	荒木桑実(言語聴覚士)

リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2009

演 題	演 者
退院後の歩行能力の変化～歩行距離に着目して～ 重度認知症患者に対する院内デイの取り組み 失語症患者における代償手段の積極的導入(第4報) マルチルームでの活動を通して広がる交流～当院レクリエーションワーカーの取り組み～ 歩行アシスト装置を使用した歩行訓練の効果について 長期介入から見えてきた訪問リハビリテーションのありかた～継続と終了を考える～ 当院が取り組む短時間通所リハビリテーションのこれまでとこれから ～短時間通所リハはどのような利用者にとっていいのか?～ 医療機関が運営する健康増進施設(第7報) ～体力づくり教室(一般高齢者施策普及啓発事業)を通して運動習慣の定着と提案～ 終末期患者とのかかわりを通して～看取りへのチームアプローチ～	播磨明恵(理学療法士) 酒井太郎(作業療法士) 田中友子(言語聴覚士) 村松峻介(レクリエーションワーカー) 荒木友希(理学療法士) 山下孝江(理学聴覚士) 遠藤悟史(理学療法士) 中村裕香(健康運動実践指導者) 貝沼綾子(看護師)

全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第15回全国研究大会

演 題	演 者
当院回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群患者の特徴について 回復期リハビリテーション病棟から安心な自宅退院をするための取り組み 回復期リハビリテーション病棟において更衣の援助に人型表示を導入した効果 回復期リハビリテーション病棟における障害受容評価の試み 自宅退院を決定する要因についての一考察 ～退院先未定から自宅退院を決意するまでの過程を探る	伊藤 功(医師) 米田明美(看護師) 福島文子(看護師) 栗崎智絵(看護師) 柴田賢(医療福祉相談員)

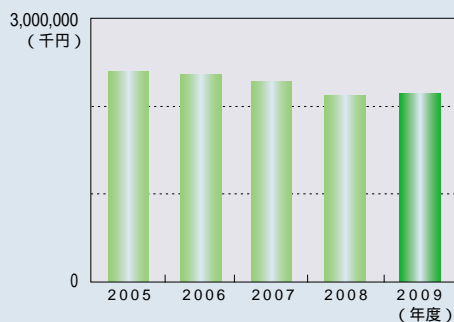


地域感謝祭

Financial Summary

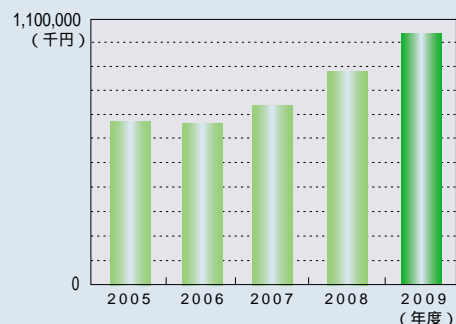
主な収入 Income

入院収入



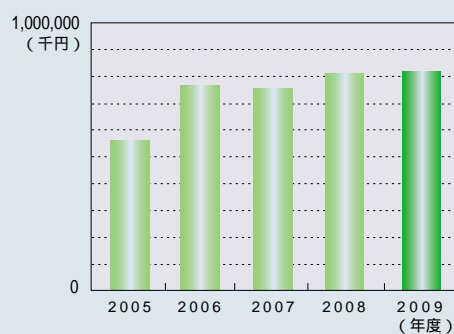
年	増減
2005	0.3%
2006	1.4%
2007	3.8%
2008	7.0%
2009	0.9%

外来収入



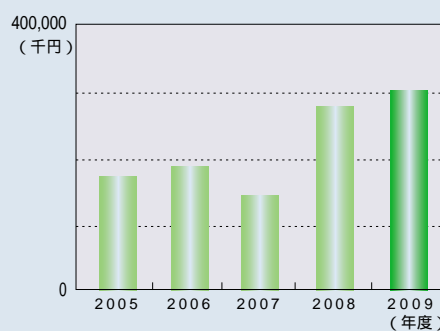
年度	増減率
2005	0.1%
2006	1.0%
2007	10.5%
2008	18.5%
2009	17.1%

リハビリ収入



年度	増減率
2005	2.4%
2006	36.6%
2007	1.1%
2008	6.9%
2009	1.2%

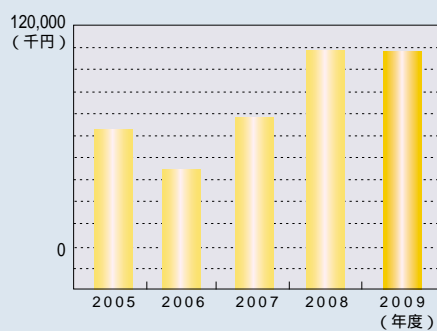
室料差額収入・その他収入



年度	増減率
2005	7.9%
2006	7.4%
2007	29.8%
2008	95.0%
2009	9.1%

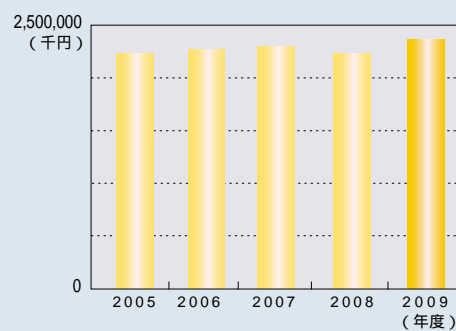
主な支出 Expenditure

薬品費



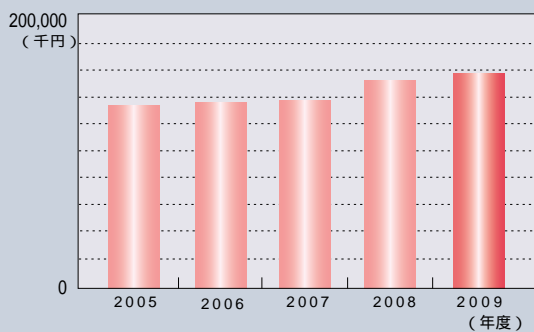
年度	増減率
2005	2.0%
2006	24.2%
2007	30.3%
2008	37.5%
2009	0.5%

給与費

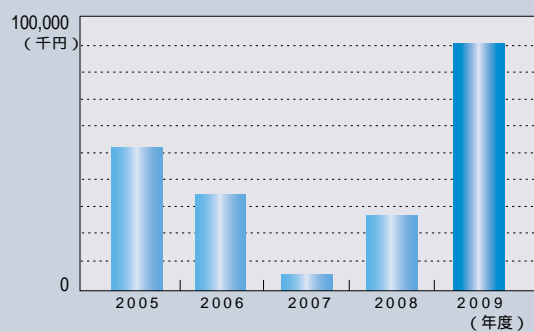


年度	増減率
2005	1.5%
2006	1.6%
2007	1.0%
2008	3.4%
2009	6.1%

減価償却費



経常損益



Chronology

1972年	(昭和47年)	霞ヶ関中央病院開設
1976年	(昭和51年)	病院ボランティア導入
1977年	(昭和52年)	特別養護老人ホーム真寿園設立
1978年	(昭和53年)	霞ヶ関中央病院 98床に増床
1980年	(昭和55年)	霞ヶ関中央病院 108床に増床
1980年	(昭和55年)	霞ヶ関中央病院 デイホスピタル設置
1982年	(昭和57年)	霞ヶ関中央病院 120床に増床
1982年	(昭和57年)	川鶴診療所開設
1984年	(昭和59年)	霞ヶ関中央病院 200床に増床
1985年	(昭和60年)	会員組織「かすみ会」設置(保健・予防)
1987年	(昭和62年)	霞ヶ関南病院開設(100床)
1988年	(昭和63年)	デイホスピタル、霞ヶ関南病院に移設
1988年	(昭和63年)	霞ヶ関中央病院 リハビリテーション部門承認(理学・作業療法)
1990年	(平成2年)	霞ヶ関南病院 在宅医療開始
1994年	(平成6年)	訪問看護ステーション「やさしい手」開設
1998年	(平成10年)	訪問看護ステーション「スマイル」開設
1998年	(平成10年)	霞ヶ関南病院、療養型病床(127床)認可
1998年	(平成10年)	霞ヶ関南病院・総合リハビリテーション施設認可
1999年	(平成11年)	霞ヶ関南病院・在宅介護支援センター「かすみ」開設
1999年	(平成11年)	霞ヶ関中央病院の外来機能を拡張、強化(一般36床、療養型50床)
1999年	(平成11年)	霞ヶ関南病院(療養型199床)
2000年	(平成12年)	ホームヘルパーステーションコール開設
2000年	(平成12年)	ホームヘルパー養成研修開始
2000年	(平成12年5月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(やまぶき・42床)承認
2000年	(平成12年7月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(さくら・42床)承認 計84床
2001年	(平成13年10月)	霞ヶ関中央病院、一般病棟36床を介護療養型病床へ 計86床
2001年	(平成13年10月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(すみれ・37床)承認 計121床
2002年	(平成14年3月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(けやき・37床)承認 計158床
2002年	(平成14年4月)	地域リハビリテーション広域支援センターの中核医療機関となる
2002年	(平成14年6月)	SKIPトレーニングセンター竣工
2003年	(平成15年5月)	安比奈クリニック開設
2004年	(平成16年5月)	霞ヶ関中央病院 医療療養病床へ 計86床
2004年	(平成16年7月)	通所介護「ケアラウンジ南大塚」開設
2005年	(平成17年10月)	霞ヶ関南病院 アネックス棟増築
2005年	(平成17年11月)	霞ヶ関南病院 財団法人日本医療評価機構 認定
2006年	(平成18年4月)	川越市地域包括支援センター「かすみ」開設
2006年	(平成18年7月)	霞ヶ関中央病院デイリビング(通所リハビリテーション) 開設
2006年	(平成18年7月)	霞ヶ関中央病院86床より77床へ
2006年	(平成18年9月)	川鶴診療所閉院
2007年	(平成19年4月)	障害者一般病棟(すみれ37床ふじ41床) 承認、計78床 回復期リハビリテーション病棟(けやき37床さくら42床やまぶき42床) 承認計121床
2007年	(平成19年8月)	霞ヶ関南病院外来棟オープン
2008年	(平成20年8月)	BLENZ COFFEE 霞ヶ関南病院店 open
2009年	(平成21年5月)	霞ヶ関南病院 通所介護「デイリビング」開設 霞ヶ関中央病院 通所リハビリテーション「デイ・リハビリテーションセンター」に名称変更
2009年	(平成21年6月)	霞ヶ関中央病院(77床)閉院 霞ヶ関中央クリニック(19床)開設 安比奈クリニック閉院(霞ヶ関中央クリニックへ統合)



真正会
Shinseikai

rehabilitation & community care

Annual Report
2009~2010

DATA FILE

